

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	遺棄化学兵器処理用装備関係経費	担当部局庁	アジア大洋州局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度開始	担当課室	中国・モンゴル課	課長 石川 浩司				
会計区分	一般会計	施策名	I-1 アジア大洋州地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項 外務省組織令第41条	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	中国に存在する遺棄化学兵器の鑑定、埋設状況、分布状況等の現地調査を行い、問題解決のための情報を収集し、ノウハウを蓄積するため現地調査を実施する必要がある、化学兵器を取り扱うために特殊な装備・機器を購入するための経費。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	化学砲弾等を取り扱う現場においては、人員の安全を確保するため、ガス検知器を使用しつつ、防護マスクや防護服を着用し調査を実施している。使用中の防護マスク及び防護服は作業を行う度に消耗していき、防護能力が低下してくる。このため、防護能力が低下した防護マスク・防護服を順次買い換えていく必要がある。(なお、化学剤を直接浴びた場合には使用時間に関係なく、それ以降の使用が出来なくなる。)。また、防護マスクの消耗部品である吸収缶についても順次購入する必要がある。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	2	2	3	3	2	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	2	2	3	3	2	
	執行額	2	2	0.7				
執行率(%)		90.00%	61%	17.74%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	中国遺棄化学兵器に関する現地調査において、化学剤による負傷者等を出さないため、すべての調査団員が防護服を完全装備することを目標とする。(成果実績は、調査人員に対する防護服の充足率(防護服を着用できなかった人員/調査人員)で示す。)		成果実績	人	0	0	0	0
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	防護服の購入件数		活動実績 (当初見込み)		10 (15)	5 (15)	0 (15)	— (10)
単位当たりコスト	調査団員1人当たりの所要装備コスト 217千円		算出根拠	(防護服5着+防護マスク5個+ジュラルミンケース2個)の合計額(1,085,000円)を調査団員数5人で割ったもの				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	備品(装備品)費	3,128	1,935					
	計	3,128	1,935					

事業所管部局による点検			
	評価	項 目	特記事項
目的・予算の状況	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成19年度に集中的に整備し、20～21年度に補完的に整備した結果、装備数は十分になったところ、22年度は執行率が特に低かったので、平成24年度は減額して要求する。ただし、平成19年度調達物品が近いうちに大量に使用期限が来ることから、24年度も継続が必要。
	-	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	防護装備品は防衛省指定の特殊物品であるため、他の会社では代替できない。運搬用ケースについて見積もり合わせを実施。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	既存の物品が機能している間は更新の必要がない性格の経費であり、今後は需要を見込んで計画を立てていく必要がある。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	適正に使用されているが、執行率が低いことを踏まえ、予算要求は合理化する必要がある。		
	予算監視・効率化チームの所見		
一部改善	事業の見直し、単価の見直しによる減		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）		
縮減（事業の見直し、単価の見直しによる減）			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

外務省

物品管理



【随意契約】

A: (株)サステック
1百万円

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載)	A.(株)サステック			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	物品購入	防護マスク運搬用ジュラルミンケース	1			
	計		1	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. (株)サステック

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サステック	ジュラルミンケースの製造	1	随意契約	—
2					